



2021年3月期 決算説明会

2021年5月24日

安藤ハザマ



1. 2021年3月期 決算の概況

当期(2020年4月～2021年3月)の事業環境について



市場環境	<ul style="list-style-type: none">• 政府建設投資は年間を通して堅調に推移。• 民間建設投資は企業収益の減少や景気の先行き不透明感により減少傾向。• 海外では、国によりロックダウンや外出禁止など、厳しい経済活動の制限が発生。
国内	<ul style="list-style-type: none">• 国内現場においては感染防止対策を徹底し、クラスターの発生等もなく、土木・建築ともに工事は概ね順調に進捗。• 民間建築において、一部の案件に発注時期の延期等が発生。• 国内建築では倉庫流通施設の受注が堅調。
海外	<ul style="list-style-type: none">• 新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、進出国にて経済活動の制限が発生し、工事を中断する期間があった。• 土木のODA案件などで発注の延期が見られた。

決算の概況



連結売上高 **3,520** 億円
(前期比 ▲ 6.9%)

■ 完成工事高の減少

連結営業利益 **273** 億円

連結営業利益率 **7.8** %

(連結営業利益 前期比 + 10.8%)

(連結営業利益率 前期比 + 1.3P)

■ 利益率の改善による売上総利益の増加

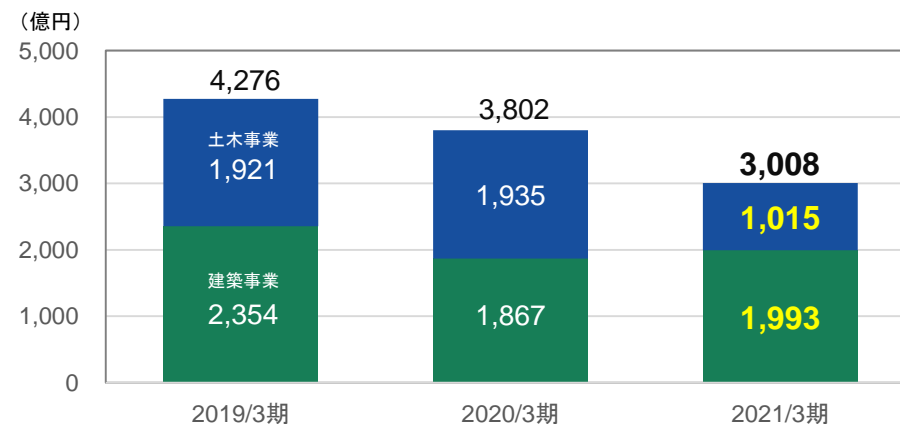
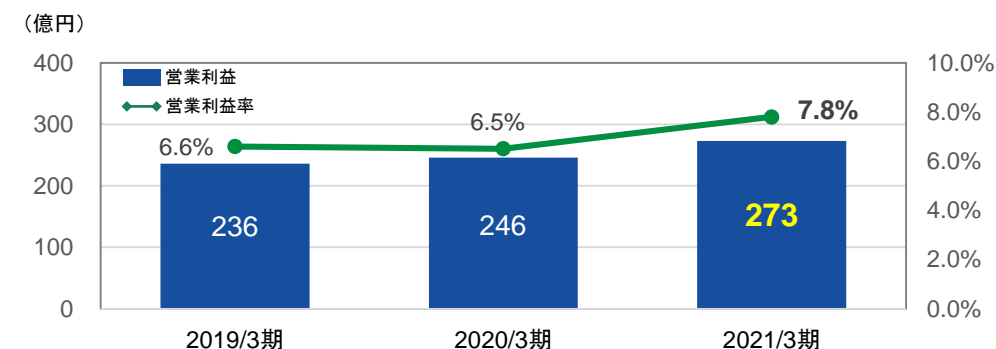
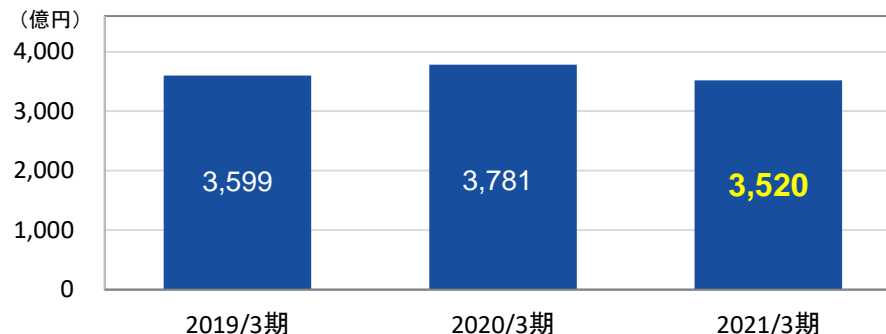
■ 販売費及び一般管理費の減少

個別受注高 **3,008** 億円
(前期比 ▲ 20.9%)

■ 国内土木は前期の大型工事受注の反動減

■ 国内建築工事は4Qに大型工事を受注

■ 海外は感染症の影響で土建とも大きく減少



【連結】経営成績



	2020年3月期		2021年3月期		
	実績	予想 (8月公表)	実績	前期比	予想比
売上高	3,781	3,650	3,520	△6.9%	△3.6%
売上総利益	472	441	481	+2.0%	+9.2%
(売上総利益率)	(12.5%)	(12.1%)	(13.7%)	(+1.2P)	(+1.6P)
販売費及び一般管理費	225	205	208	△7.6%	+1.5%
営業利益	246	236	273	+10.8%	+15.9%
(営業利益率)	(6.5%)	(6.5%)	(7.8%)	(+1.3P)	(+1.3P)
経常利益	239	219	258	+8.0%	+18.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	168	148	171	+2.3%	+16.1%

(単位:億円、単位未満切捨)



【連結】貸借対照表

	前期末 2020年3月31日 ①	当期末 2021年3月31日 ②	増減 ②－①
流動資産	2,775	2,744	△31
固定資産	621	651	+29
資産合計	3,397	3,396	△1
流動負債	1,793	1,739	△54
固定負債	234	189	△45
負債合計	2,028	1,929	△99
純資産	1,369	1,466	+97
負債・純資産合計	3,397	3,396	△1
有利子負債(億円)	271	252	△18
D/Eレシオ※(倍)	0.20	0.17	△0.03P
自己資本比率(%)	40.0	43.0	+3.0P

- ・現金預金(+263)
- ・受取手形・完成工事未収入金等
(△163)

- ・有価証券(△140)
- ・その他のたな卸資産(+41)
- ・その他流動資産(△42)
- ・建物・構築物(+13)
- ・投資有価証券(+29)
- ・その他(△2)

- ・支払手形・工事未払金等(△83)
- ・未成工事受入金(△32)
- ・預り金(+30)
- ・その他流動負債(+48)
- ・退職給付に係る負債(△39)
- ・その他(△23)

- ・利益剰余金(+113)
- ・自己株式(△49)
- ・その他有価証券評価差額金(+18)
- ・その他(+15)

※ D/Eレシオ:有利子負債/自己資本(純資産－新株予約権－非支配株主持分)

(単位:億円、単位未満切捨)



2. 2021年3月期 個別決算の詳細

【個別】受注高



2020年3月期		2021年3月期			
	実績	予想 (8月公表)	実績	前期比	予想比
受注高	380,281	335,000	300,869	△20.9%	△10.2%
土木工事	193,575	120,000	101,527	△47.6%	△15.4%
国内	175,727	114,000	100,947	△42.6%	△11.4%
海外	17,847	6,000	579	△96.8%	△90.3%
建築工事	186,706	215,000	199,341	+6.8%	△7.3%
国内	172,293	210,000	195,747	+13.6%	△6.8%
海外	14,412	5,000	3,593	△75.1%	△28.1%

(単位:百万円、単位未満切捨)

【個別】完成工事高・完成工事総利益



2020年3月期		2021年3月期			
実績		予想 (8月公表)	実績	前期比	予想比
完成工事高	351,527	335,000	328,044	△6.7%	△2.1%
土木工事	124,314	135,000	135,932	+9.3%	+0.7%
建築工事	227,213	200,000	192,111	△15.4%	△3.9%
完成工事総利益	43,174	40,300	44,036	+2.0%	+9.3%
(完成工事総利益率)	(12.3%)	(12.0%)	(13.4%)	(+1.1P)	(+1.4P)
土木工事	21,960	21,900	23,303	+6.1%	+6.4%
	(17.7%)	(16.2%)	(17.1%)	(△0.6P)	(+0.9P)
建築工事	21,214	18,400	20,732	△2.3%	+12.7%
	(9.3%)	(9.2%)	(10.8%)	(+1.5P)	(+1.6P)

(単位:百万円、単位未満切捨)

【個別】繰越高



	前期末 2020年3月31日	当期末 2021年3月31日	前期比	増減
繰越高	546,698	519,618	△5.0%	△27,080
土木工事	364,119	329,835	△9.4%	△34,283
国内	339,512	311,802	△8.2%	△27,710
海外	24,607	18,033	△26.7%	△6,573
建築工事	182,578	189,782	+3.9%	+7,203
国内	171,489	184,593	+7.6%	+13,103
海外	11,089	5,189	△53.2%	△5,900

(単位:百万円、単位未満切捨)



3. 中期経営計画(2021.3期～2023.3期)進捗状況

中期経営計画の進捗状況



	2021年3月期 進捗状況	2022年3月期 実施見通し
お客様 価値の創造	【技術開発等】 <ul style="list-style-type: none"> 山岳トンネル統合型掘削管理システム、自律走行ひび割れ検査ロボット等の生産性向上、低コスト、短工期、高品質に資する技術を開発 技術開発力の強化に向け、技術研究所の施設更新を計画 コスト競争力の向上を目的とした、当社グループ3か所目の新PC工場の整備 	<ul style="list-style-type: none"> BIM活用によるフロントローディング推進ほか、建設事業のDX化を推進し、生産性向上、品質向上に資する取り組みを継続 防災・減災や、環境配慮型技術等、当社技術力の向上を目指した技術研究所施設の更新(大型振動台他) PC工場の拡充によるプレキャスト製品の製造力強化、自社調達促進
	【LCS(ライフサイクルサポート)事業】 <ul style="list-style-type: none"> LCS事業本部の設立による体制整備、取組開始 	<ul style="list-style-type: none"> 新築部門との連携、ワンストップサービスの展開による、LCS事業(リニューアル、維持管理)の拡充、顧客基盤の拡大
株主 価値の創造	【安定収益確保、事業構造変革】 <ul style="list-style-type: none"> 技術開発、PC工場および収益物件の取得など、約50億円の成長投資を実施 保有資産の有効活用、収益物件化に向けて支店ビルのFM事業を計画 	<ul style="list-style-type: none"> 2023年3月期までの2年間で約200億円の成長投資を計画・実施 東北支店ビルのFM事業の着手(他の支店ビルについても順次検討)
	【株主還元】 <ul style="list-style-type: none"> 2020年11月より1年間で100億円を上限とする自己株式の取得を決定(2021年3月末時点で約49億円) 配当(年間配当 30円/株)と自己株式の取得により、総還元性向61.9%。 	<ul style="list-style-type: none"> 前期からの自己株式取得を継続し、51億円分を取得予定 自己株式の取得は継続的に検討し、機動的に対応 安定配当(年間配当30円/株を予定)と自己株式取得により、高い還元性向を維持
環境 価値の創造	【再生可能エネルギー事業等】 <ul style="list-style-type: none"> 国内外における再生可能エネルギー事業への参画を計画 建築事業と連携して、太陽光ESP事業への取組開始・事業化に目途 SBTやRE100の計画に基づき、再生可能エネルギーの利用拡大に向けた取組を推進(SBT(Scope1+2)、及びRE100の各目標については、概ね計画通り推移) 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の再生可能エネルギー事業は、引き続き参画、事業化に向け具体的な検討を継続 太陽光ESP事業を積極的に推進し、事業量を拡大 引き続き、全社的に気候変動対策への取組を計画的に推進、強化
	【環境配慮型技術への取組】 <ul style="list-style-type: none"> 技術研究所等、当社保有施設を活用したZEB化や次世代エネルギーマネジメントシステムの実証開始 建築施工物件で、ZEB Ready認証、およびCASBEEスマートウェルネス最高ランク認証を取得 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代エネルギーマネジメントシステム、ZEB技術の実案件適用に向け実証試験と効果の検証を継続 自社物件も含めZEB等の環境技術(実績)のさらなる蓄積・展開
従業員 価値の創造	【働き方改革】 <ul style="list-style-type: none"> 健康経営への取組を推進 週休二日の2021年度末までの定着に向けて施策継続 テレワーク制度の導入や、サテライトオフィスの運用等、新型コロナウイルス感染防止対策を含む新しい働き方とオフィス環境整備への取組 	<ul style="list-style-type: none"> 健康経営の促進継続、「ハラスメント防止宣言」を踏まえた施策の強化 週休二日は当期達成に向け施策を継続 生産性の高い新しい働き方に向けて、制度拡充、ペーパーレス化推進、通信等の環境整備、及び新型コロナウイルス感染防止対策の徹底継続
	【ダイバーシティ】 <ul style="list-style-type: none"> 女性活躍支援に向けた、キャリア形成支援研修を開催 	<ul style="list-style-type: none"> 新たに策定した5か年の行動計画に基づく女性活躍支援策の継続



中期経営計画の進捗状況(投資計画)

■中期経営計画期間 3か年(2021.3期～2023.3期)の投資計画と予実績

分野	3年間の投資計画 (当初予定)	対象	3年間現状 投資見通し (2021年3月期末実績)
エネルギー事業	50 億円 程度	<ul style="list-style-type: none">再生可能エネルギー事業(国内&海外)エネルギーサービスプロバイダ事業 (ESP事業)	約50億円 (少額)
不動産事業、 インフラ運営事業等	50 億円 程度	<ul style="list-style-type: none">保有資産(支店ビル)のファシリティーマネジメント事業収益物件の取得	約30億円 (約17億円)
パートナー戦略投資	50 億円 程度	<ul style="list-style-type: none">海外事業パートナーとのアライアンススタートアップ企業との協業	約50億円 (少額)
イノベーション投資、 技術開発投資等	100 億円 程度	<ul style="list-style-type: none">技術開発投資(生産性向上、低コスト、短工期等)技術研究所の設備投資PC工場の増設(3拠点目)ベンチャーキャピタル投資(VC投資)	約120億円 (約33億円)
総額	200～ 300億円		約250億円 (約50億円)

■2021年3月期の主な投資実績等

技術研究開発投資、新PC工場(静岡)、収益物件(都内ビジネスホテル)、VC・スタートアップ企業への投資

技術開発等



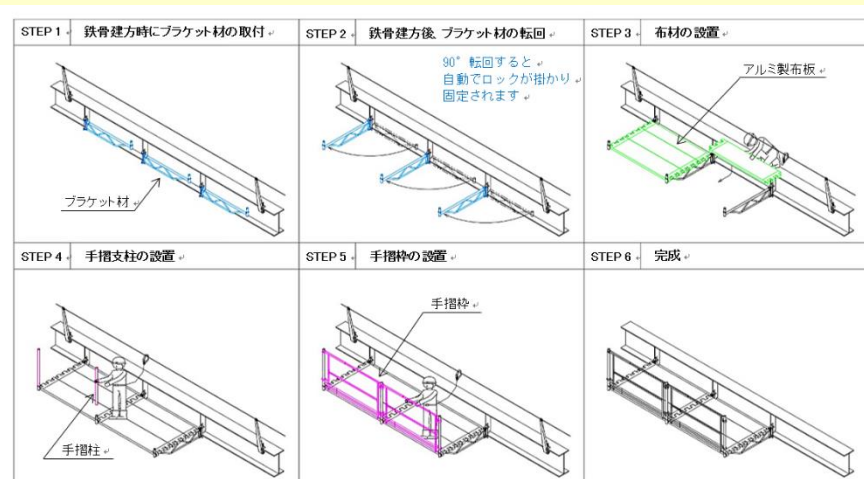
建築工事における生産性と安全性を向上させる技術の活用

- 作業の精度向上・効率化、労力低減で生産性の向上
- 安全性の向上
- 低コスト、短工期、高品質の実現

① 「組み立て容易な躯体端部のはね出し足場」

ー折り畳みブラケット材の開発ー

- ・躯体端部における作業足場の安全性と生産性を向上
- ・必要時に容易に組み立てが可能



▲ 折り畳み式はね出し足場 組み立て手順図

② 「自律走行ひび割れ検査ロボット」技術の展開

- ・1台のタブレットでロボット複数台の効率よい使用・管理が可能
- ・大規模工場の施工現場で、検査時間の大幅短縮と時間当たりの検査量増加を確認



- 1 ロボット情報 (1号機)
 - ・ロボットの状態
 - ・走行位置 (図面)
 - ・検査終了予定時間
 - ・ストロボの光量
 - ・シャッタースピード など
- 2 ロボット情報 (2号機)
 - ・下にスクロールで、最大24台まで表示可能
- 3 ひび割れ検出状況 (ワークステーション)
 - ・ワークステーションの状態
 - ・未検出画像枚数
 - ・検出済画像枚数
 - ・検出終了予定時間 など
- 4 ひび割れ検出結果 (ワークステーション)
 - ・撮影画像 (上段)
 - ・ひび割れ検出画像 (下段)

安定収益確保、事業構造変革



東北支店ビルのファシリティーマネジメント(FM)事業

- 保有する東北支店ビル(仙台市)を、自社用オフィスビルと賃貸用ビルとのハイブリッド型に建て替え、収益物件(賃貸マンションを想定)として運用
 - 不動産ストックビジネスとして、新たな収益源の創出
 - ZEB関連等、環境配慮型をはじめとした自社開発技術の実証と、更なる高度化に活用(自社用オフィス対象)
 - 老朽化施設の建て替えによる、職場環境の向上とBCPへの対策強化
- 自社施設への太陽光発電設備設置により、事業活動の脱炭素化にも寄与
- 今後、国内で保有する他の支店ビルについても、FM事業化を推進



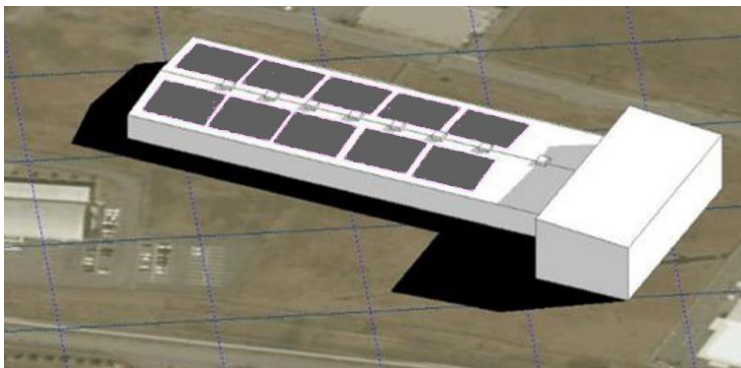
▲ 完成予想イメージ(※今後、変更することがあります)

再生可能エネルギー事業等



太陽光発電ESP事業(PPA方式)

- お客様の保有施設や遊休土地に、安藤ハザマ負担で太陽光発電設備を設置
→イニシャルコスト不要で、未活用資産を有効活用
- お客様は、発電設備で生産した再エネ電気を自家消費するのみ
→運用、メンテナンス、電気供給まで、安藤ハザマがワンストップで実施
- 低価格で再エネ電気の利用が可能
→光熱費の削減と、施設の低炭素化を実現

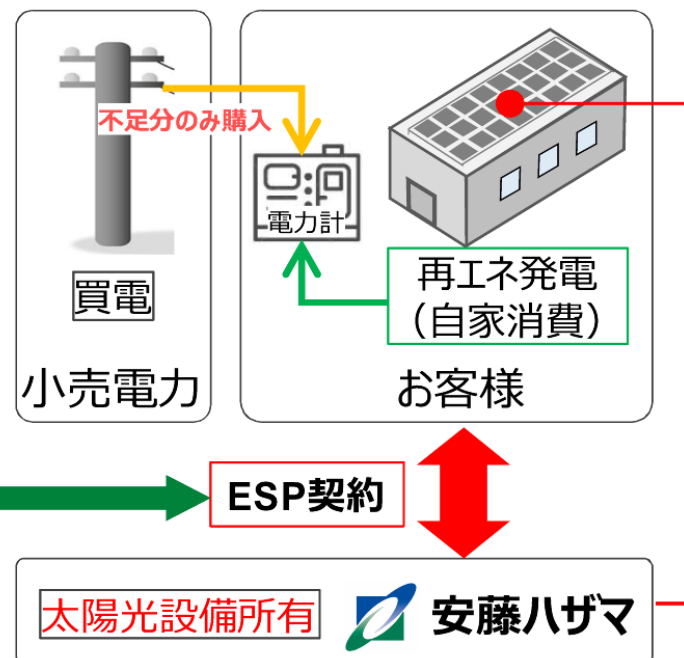


▲太陽光パネル設置イメージ図

太陽光ESP導入

再エネ電気を自家消費

+ 不足分だけ電力会社から買電



調達・導入（設計・施工）から
所有・運用・メンテナンス、
発電した電気の供給までを行う
ワンストップサービス

環境配慮型技術への取り組み



ZEB Ready認証 & CASBEEスマートウェルネスオフィス最高ランク認証 ～ 新電元工業 朝霞事業所〔埼玉県/2021年2月完成/研究施設〕

- エネルギー削減率52%の実現でZEB Ready認証取得
- CASBEEスマートウェルネスオフィス認証 最高のSランクを取得

- ・ 外周(外壁・窓等)の断熱性能を強化
- ・ 自然エネルギーを活用した省エネ技術を採用
- ・ 働く人たちの健康と快適さを維持・増進
- ・ 知的生産性の向上に資する
- ・ コミュニケーション・健康行動を誘発する計画

空調システム : 二重床に高効率空調機からの空気を送風して吹出口から吹き出すことでエネルギー消費を抑制しながら快適・クリーンな居住環境を維持するシステム

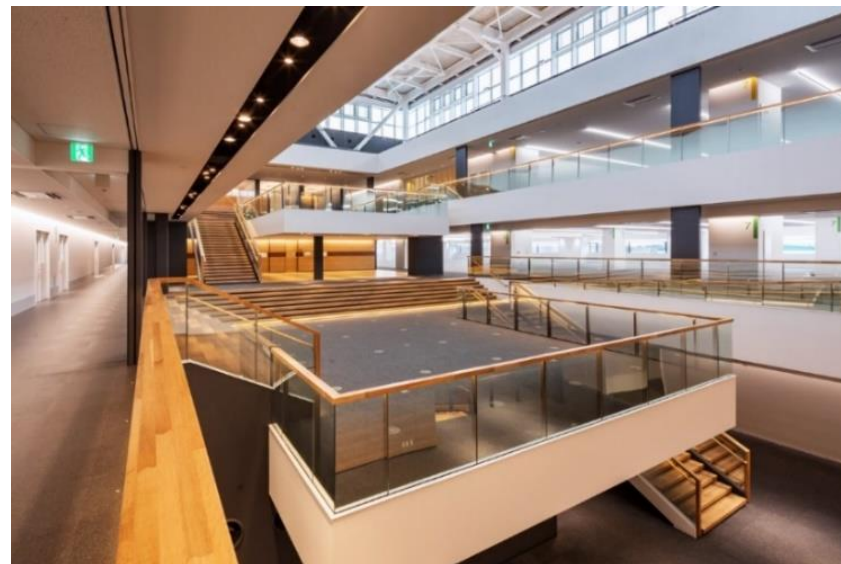
照明システム : 視覚効果を解析することで照度を抑えて最適な明るさを提供する照明システム等により、省エネと知的生産性の向上を実現



◀ 照明システム



▲ 新電元工業 朝霞事業所



▲ アトリウム



4. 2022年3月期通期の業績見通し

2022年3月期業績予想における当社認識



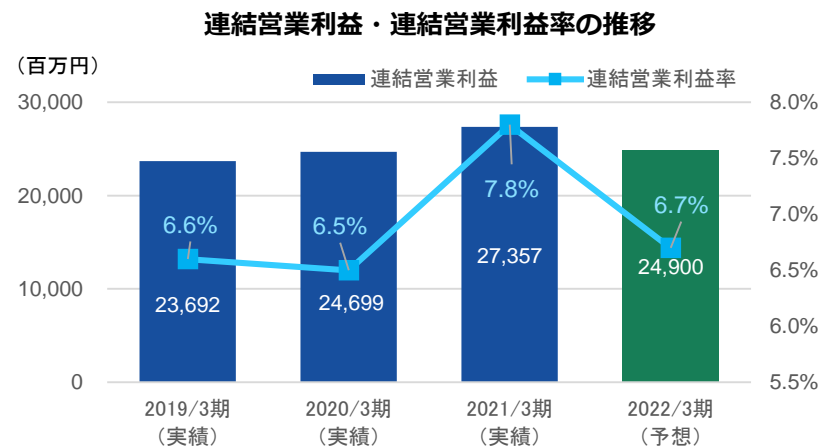
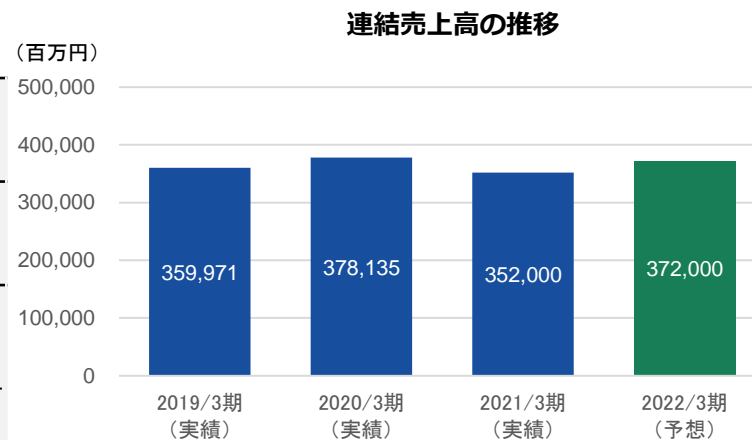
市場環境	<ul style="list-style-type: none">• 感染拡大が継続する中で、企業活動の持ち直しが見られる業種・分野を中心として、民間設備投資等は緩やかに回復していくものと期待される。• 建設経済研究所の見通し(4月28日付)では、コロナ禍にあって政府建設投資は前年度比▲2.6%、民間建設投資は前年度比▲1.0%で減少する。改修改装投資は0.7%の微増が見込まれる。• 海外は、国・地域ごとの感染状況や経済対策の違いでばらつき。米国等ワクチン接種普及で景気回復が期待される。
当社事業	<ul style="list-style-type: none">• 土木・建築の国内完工高は、感染防止対策の徹底を前提に、順調に進捗するものと予想。• 土木受注は、国土強靱化での公共工事をはじめ、総合評価案件、大型インフラ工事や高速道路リニューアル工事に注力。蓄積した技術力とデジタル技術を融合させた情報化施工技術を工事に展開。• 建築受注は、大型の倉庫・流通施設やデータセンターの引き合いは堅調。LCS事業本部でのリニューアル案件の受注にも注力。BIMを活用したフロントローディング化やPCaの活用等による生産性向上、ZEBによる環境技術等で設計施工案件での提案力向上を図る。



【連結】通期業績予想

	2021年 3月期	2022年3月期	
	実績	期初予想	前期比
売上高	352,000	372,000	+5.7%
売上総利益	48,165	45,200	△6.2%
(売上総利益率)	(13.7%)	(12.2%)	(△1.5P)
販売費及び 一般管理費	20,808	20,300	△2.4%
営業利益	27,357	24,900	△9.0%
(営業利益率)	(7.8%)	(6.7%)	(△1.1P)
経常利益	25,891	23,400	△9.6%
親会社株主に 帰属する当期純利益	17,189	15,800	△8.1%

(単位:百万円、単位未満切捨)

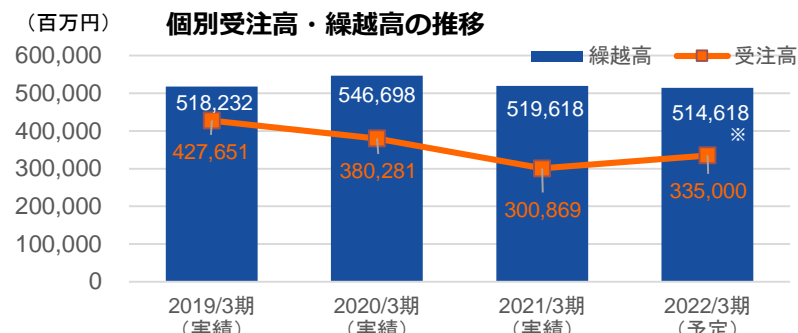


【個別】受注高予想

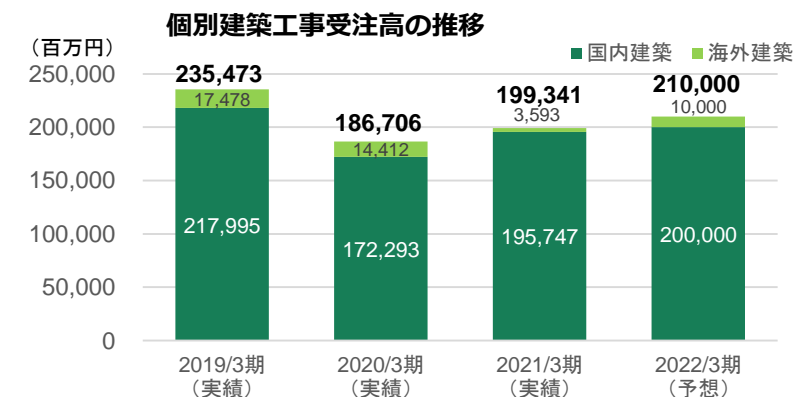
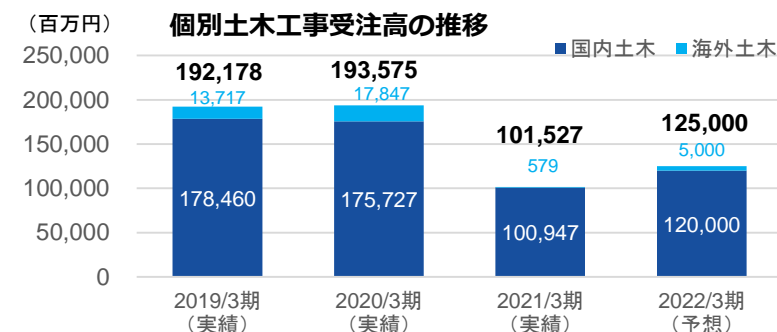


	2021年 3月期	2022年3月期	
	実績	期初予想	前期比
受注高	300,869	335,000	+11.3%
土木工事	101,527	125,000	+23.1%
国内	100,947	120,000	+18.9%
海外	579	5,000	+762.1%
建築工事	199,341	210,000	+5.3%
国内	195,747	200,000	+2.2%
海外	3,593	10,000	+178.2%

(単位:百万円、単位未満切捨)



※ 以下の数式により便宜的に算出した数値です。
 「2021年3月期末繰越高」+「2022年3月期予想受注高」-「2022年3月期予想完成工事高」



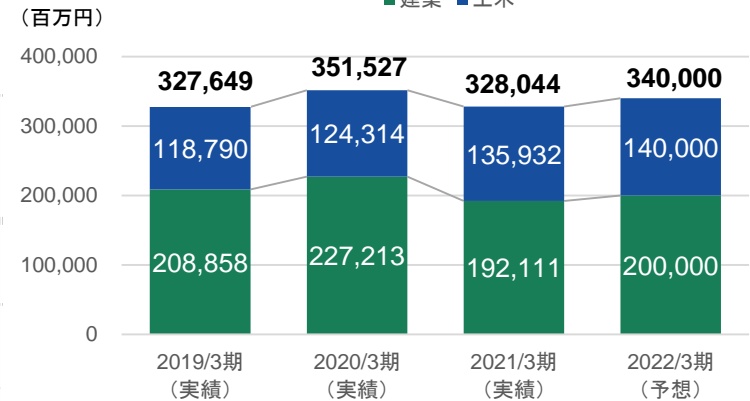


【個別】完成工事高・完成工事総利益予想(通期)

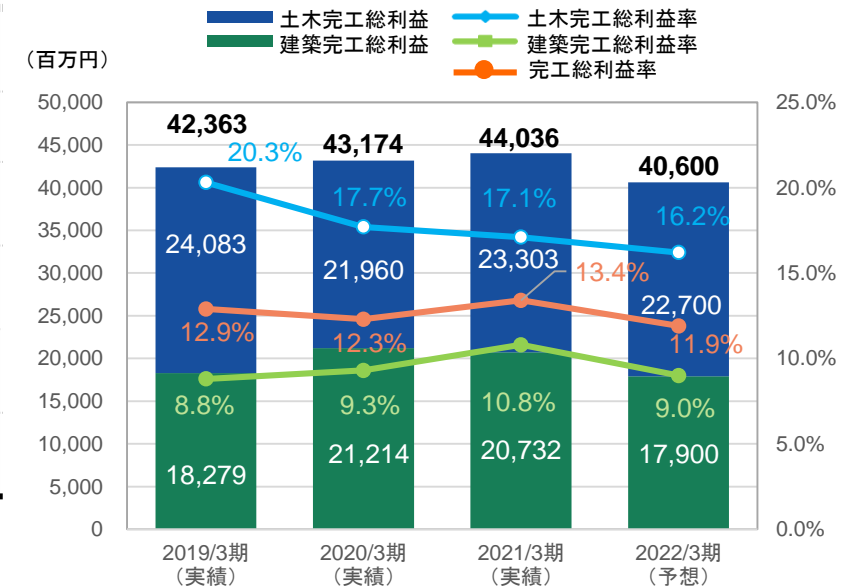
	2021年 3月期	2022年3月期	
	実績	期初予想	前期比
完成工事高	328,044	340,000	+3.6%
土木工事	135,932	140,000	+3.0%
建築工事	192,111	200,000	+4.1%
完成工事総利益	44,036	40,600	△7.8%
(完成工事総利益率)	(13.4%)	(11.9%)	(△1.5P)
土木工事	23,303	22,700	△2.6%
(土木工事総利益率)	(17.1%)	(16.2%)	(△0.9P)
建築工事	20,732	17,900	△13.7%
(建築工事総利益率)	(10.8%)	(9.0%)	(△1.8P)

(単位:百万円、単位未満切捨)

完成工事高の推移



完成工事総利益・完成工事総利益率の推移

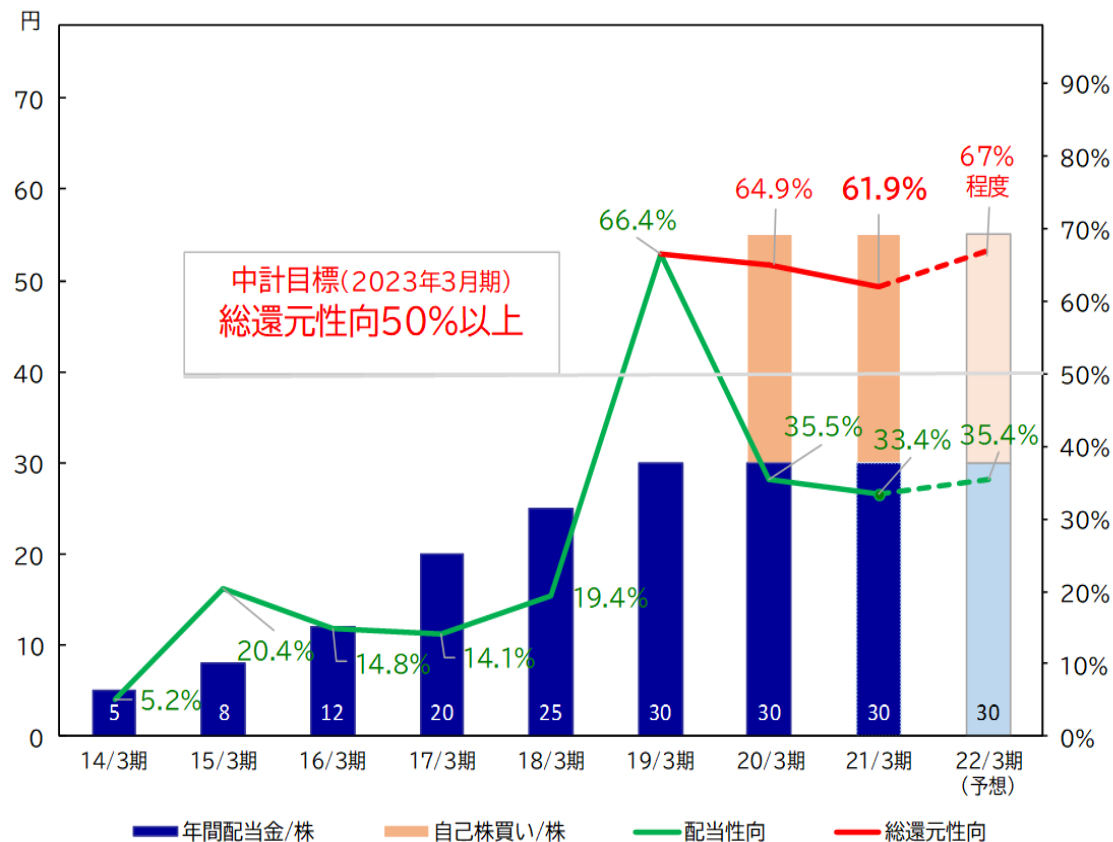


株主還元の実施状況



将来に向けた成長投資及び内部留保の充実を図りながら、着実に株主還元を拡充

年間配当、配当性向及び総還元性向の推移と見直し



1. 年間配当金

	中間配当	期末配当	合計
2021年3月期 (実績)	15 円	15 円	30 円
2022年3月期 (予定)	15 円	15 円	30 円

業績や将来の収益等を考慮し、継続的かつ安定的な配当を実施

2. 自己株式取得

① 2020年11月10日取締役会決議の内容

取得期間 : 2020年11月16日～2021年11月15日
 取得し得る株数(上限) : 1,800万株
 取得価額の総額(上限) : 100億円

② 取得状況(2021年3月末現在)

取得期間 : 2020年11月16日～2021年3月31日
 取得した株式の総数 : 6,553,500株
 株式の取得価額の総額 : 4,934,675,100円



土木

吉野瀬川ダム建設工事(ダム本体)

発注者: 福井県

工事場所: 福井県

建築

(仮称)嵐山物流センター計画

発注者: 株式会社ユニホー

工事場所: 埼玉県



土木

国道399号 十文字トンネル工事

発注者：国土交通省東北地方整備局
工事場所：福島県

建築

(仮称)JA神奈川県厚生連 相模原協同病院移転新築工事

発注者：全国農業協同組合連合会
工事場所：神奈川県



本資料はIRのためのスライド集であり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料は株式会社 安藤・間の事業および業界動向についての株式会社 安藤・間による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性を含んでおります。



安藤ハザマ
HAZAMA ANDO CORPORATION